

第2回香川地方会 活動報告

開催日 平成28年1月30日(土)

会場 三豊総合病院

平成28年1月30日(土) 三豊総合病院にて第2回香川地方会を開催いたしました。

現状の把握と今後のステップアップにむけて「～情報のシェアから学ぶ～」をテーマに四国4県・岡山県・大阪府より24施設106名の方にご参加いただきました。

開会の挨拶 NPO 法人日本医師事務作業補助研究会 理事長 矢口智子

第1回香川地方会で、医師事務作業補助者の必要性を確認し合い、チーム医療について考える会を開催しました。

その結果、様々な課題を共有することによって個人のスキルアップはもちろん、それぞれの施設の発展に繋がることを期待されていると感じたので今回は、具体的な情報共有を行い、課題解決にむけて協議する場としたいとの挨拶から始まりました。



講演 『今、医師事務作業補助者に求められている事できる事』 三豊総合病院 院長 安東正晴



医師事務作業補助者に求められていることは何か？

出来ることは何か？

医師事務作業補助者を育てるのは医師である。

また医学知識だけでなく、医療法、医師法、保険制度、診療報酬などの幅広い知識を共有する必要があると述べられました。学会発表論文等の資料作成、適切な統計資料による有意差検定、スライド作成等が出来れば、医師の負担は格段に改善されるためスーパークラークをめざそう！と講演いただきました。

グループワーク／グループワークの報告・質疑応答

6 テーマのうち希望するテーマに 1 グループ 5～6 名で参加していただきました。

- A. 外来診療における代行入力
- B. 文書作成
- C. 診療に関するデータ整理
- D. コミュニケーション
- E. 新人育成
- F. スキルアップ



グループワークでは、日頃の業務について疑問、悩み、各施設の現状など、活発な情報交換が行われ、初顔合わせとは思えないほど和やかに進行され時間が足りないほどでした。今回のテーマは 6 題ありましたが A. 外来診療における代行入力と B.文書作成への関心が高かったようです。

報告・質疑応答では、17 グループ全てに報告をしていただき、各自の参加したテーマ以外についても情報共有を行うことができました。現状等の報告時には、テーマに関わらずフロアから活発な意見が出たり、矢口理事長にアドバイスをいただいたり、たいへん有意義な会を行うことができました。

地方会を通して

矢口理事長の開会の挨拶にもありましたが、グループワークを通して、個人のスキルアップ、施設の発展に繋がる情報交換ができたと思います。

アンケート結果からも、『知らなかった情報等も共有でき今後に活かせる』『実務者同士の情報交換ができ心強く感じた』『一緒に頑張っていこうという気になった』『他病院の詳しい業務内容が分かった』『改善点がわかり参考になった』などの意見をいただき、どの施設も悩みは尽きず相談する場の必要性も実感しました。地方会を通しますますの交流が深まればと考えています。

報告者： 三豊総合病院 高橋 愛